

開催要項

1. 大会趣旨

『令和元年！

節目の年を迎えて、原点の再確認と、生涯を支える切れ目のない支援の構築を！』

令和元年が示すように、今年は「気淑く、和やかな」節目・転換・飛躍の年！

全国の親が集結して設立した「日本自閉症協会」は、設立 51 年目に入り、「全日本自閉症支援者協会」は、発足 32 年目を迎えました。

今から 51 年前は、発達支援の場は皆無といってよく、義務教育からも締め出されていた自閉症のある子どもたちに親が願ったのは、「生涯を支える切れ目のない支援、人として当たり前の豊かな生活を」でした。親たちが発起人となって設立した施設が全国で 8 カ所できたところで発足した「全自者協（当時は、全国自閉症者施設連絡協議会）」もまた、「自閉症者の人権と生きるための発達保障・自立・社会参加の実践と研究の推進」をめざし、福祉制度の谷間にある自閉症の人たちの支援を支援する立場から、先駆的に実践してきました。

51 年という歳月は、「わが子らに居場所を、豊かな生活を」と、素手で扉をたたき、制度に繋げてきた親たちの高齢化を意味します。別のことばでいえば、それは、「親の思いを支援者に託すべき節目の年。支援者は、その思いを受け継ぎ、さらに飛躍させていく転換の年」であることを意味してもいいのではないのでしょうか。

その転換期にあたって、原点の再確認とは、一つは、これまで取り組み、蓄積し、到達した実績・英知を明らかにし、自閉症のある方々が、困難さを抱えながらも地域社会の中で、人としての尊厳をもって豊かな生活を送れているのかを実証し、共有することに他なりません。そして、もう一つは、これらの蓄積・英知を基に、残された課題を明らかにするとともに、支援の根幹を継承・飛躍させていくことだと考えます。

彼ら自身も高齢化していく中、地域の中で、切れ目なく生涯を支えるために、継承すべきもの、構築すべきものを共に考えていきたいと思えます。

2. 主催 一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

<開催担当 全日本自閉症支援者協会 関東ブロック施設>

- ・社会福祉法人梅の里「あいの家」 ・社会福祉法人ぐんぐん「ぐんぐん」
- ・社会福祉法人昭和ゆたか会「ライフ」 ・社会福祉法人榎の里「いすみ学園」
- ・社会福祉法人菜の花会「しもふさ学園」 ・社会福祉法人いちょうの里「みずほ学園」
- ・社会福祉法人嬉泉「おおらか学園」「子どもの生活研究所めばえ学園」「袖ヶ浦のびろ学園」
「袖ヶ浦ひかりの学園」「児童発達支援センターヒツジ」「地域生活支援センターたのしみ」
「東京都発達障害者支援センタートスカ」「板橋区立赤塚福祉園」・一般社団法人 親泉会
- ・社会福祉法人せたがや櫨の木会「世田谷区立下馬福祉工房」
- ・社会福祉法人正夢の会「昭島生活実習所」 ・社会福祉法人滝乃川学園「滝乃川学園児童部」
- ・社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会「ひだまりの里きよせ」
- ・社会福祉法人啓光福祉会「啓光学園」・社会福祉法人ひとふさの葡萄「ほっとらんになぐ」
- ・社会福祉法人まつど育成会「まつぼっくり」
- ・NPO法人だいち「ライフステーション樹もれび」
- ・社会福祉法人けやきの郷「初雁の家」「ワークセンターけやき」（大会主管施設）

3. 後援 ・埼玉県 ・川越市 ・一般社団法人日本自閉症協会 ・埼玉県自閉症協会
・公益財団法人日本知的障害者福祉協会 ・埼玉県発達障害福祉協会
・一般財団法人日本発達障害ネットワーク ・日本自閉症スペクトラム学会
・発達障害者支援センター全国連絡協議会
4. 期日 令和元年11月7日(木)～8日(金)
5. 会場 川越プリンスホテル
〒350-8501 埼玉県川越市新富町1-22 TEL 049-227-1111
(西武新宿線「本川越駅」直結)
(東武東上線「川越市駅」徒歩約5分)
(JR線&東武東上線「川越駅」徒歩約10分)
※「情報交換会」も同会場にて開催いたします
6. 参加対象者 全日本自閉症支援者協会会員施設職員 知的障害者関係施設職員
家族(保護者) その他関係機関職員等
7. 定員 300名(申込締切日:10月7日(月)) ※受付期間を延長しております
8. 参加費
- | | | |
|-------|------|----------------|
| 【会員】 | 両日参加 | <u>10,000円</u> |
| | 一日のみ | <u>7,000円</u> |
| 【非会員】 | 両日参加 | <u>11,000円</u> |
| | 一日のみ | <u>8,000円</u> |
- ※情報交換会 9,000円(会員・非会員とも)
9. 参加申込先 西武トラベル株式会社 『全日本自閉症支援者協会研究大会埼玉大会』係
(受付担当:吉澤・三浦 渉外担当:廣岡)
〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル3階
営業時間:平日9時30分～17時30分
(土曜日・日曜日・祝祭日はお休みとなります)
TEL:03-6743-7171 FAX:03-6743-7186
E-mail:zenjisyakyo.saitama@seibuttravel.co.jp
申込受付開始 令和元年9月2日(月)
10. 大会事務局 社会福祉法人けやきの郷(担当:水野・内山)
〒350-0813 埼玉県川越市平塚新田高田町162
TEL 049-232-6363 FAX 049-232-6367
E-mail Jiheiken33@gmail.com

11. 日程

時間	1日目（11月7日・木曜日）	時間	2日目（11月8日・金曜日）
9：00	実行委員会集合	9：00	受付開始
		9：30 (120分)	シンポジウム テーマ 「未来への継承～自閉症児者支援のさらなる発展を目指して～」 【話題提供者】 ・水野佐知子（岐阜県自閉症協会） ・松上利男（全日本自閉症支援者協会） ・加藤永歳（厚生労働省） 【司会（コーディネーター）】 ・石井啓（全日本自閉症支援者協会） 【指定討論者】 ・日詰正文（国立のぞみの園）
		11：30	閉会式
12：00	受付開始	12：00	昼食
13：00	開会式 主催者挨拶 来賓挨拶 他	13：00 (180分)	分科会 ・第1分科会 「切れ目のない支援体制を地域で構築・実践するために」 ・第2分科会 「個々を理解した豊かな生活のために（行動障害への支援）」 ・第3分科会 「自閉症者の安定した就労（活動）とその支援～働きは人生の柱～」 ・第4分科会 「職員の定着促進のヒントを探して～就活から定着まで気持の変化を追って～」 ・第5分科会 「親から支援者・地域へのバトンタッチ（生涯を支えるために）」
13：30 (40分)	行政説明 ①文部科学省 田中裕一 ②厚生労働省 加藤永歳		
14：10 (60分)	大会記念インタビュー 阿部叔子（けやきの郷） ・牧嶋博子（TBS）		
15：10	休憩（15分）		
15：25 (60分)	基調講演① 「自閉症支援の歩みと到達点 ～福祉の視点から～」 志賀利一（横浜やまびこの里）		
16：25	休憩（15分）		
16：40 (60分)	基調講演② 「自閉症支援の歩みと到達点 ～医療の視点から～」 市川宏伸（日本自閉症協会）		
17：40	連絡伝達		
18：40 (120分)	情報交換会	16：00	終了

12. 概要

◆ 11月7日 (1日目)

行政説明	13:30～14:10
①文部科学省	・田中裕一 (文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 (発達障害専門))
②厚生労働省	・加藤永歳 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官)

大会記念インタビュー	14:10～15:10
テーマ	「わが子、そして同志と共に ～扉を開けて、未来へつなぐ～」
【発表者】	阿部叔子 (社会福祉法人けやきの郷 理事長)
【インタビュー】	牧嶋博子 (TBS報道局解説・専門記者室長)

基調講演①	15:25～16:25
テーマ	「自閉症支援の歩みと到達点 ～福祉の視点から～」
【講師】	志賀利一 (社会福祉法人横浜やまびこの里 相談支援事業部長)

基調講演②	16:40～17:40
テーマ	「自閉症支援の歩みと到達点 ～医療の視点から～」
【講師】	市川宏伸 (一般社団法人日本自閉症協会 会長)

◆ 11月8日 (2日目)

シンポジウム	9:30～11:30
テーマ:	「未来への継承 ～自閉症児者支援の更なる発展を目指して～」
【司会 (コーディネーター)】	・石井啓 (一般社団法人全日本自閉症支援者協会 副会長)
【発表者】	・水野佐知子 (岐阜県自閉症協会 会長) ・松上利男 (一般社団法人全日本自閉症支援者協会 会長) ・加藤永歳 (厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官)
【指定討論者】	・日詰正文 (独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 事業企画局 研究部長)

分科会	13:00～16:00
第1分科会 (分科会記号①)	「切れ目のない支援体制を地域で構築・実践するために」
第2分科会 (分科会記号②)	「個々を理解した豊かな生活のために」 (行動障害への支援)
第3分科会 (分科会記号③)	「自閉症者の安定した就労(活動)とその支援 ～働きは人生の柱～」
第4分科会 (分科会記号④)	「職員の定着促進のヒントを探して ～就活から定着まで気持ちの変化を追って～」
第5分科会 (分科会記号⑤)	「親から支援者・地域へのバトンタッチ(生涯を支えるために)」

(分科会詳細)

第1分科会：テーマ 「切れ目のない支援体制を地域で構築・実践するために」
担当施設：社会福祉法人滝乃川学園 社会福祉法人嬉泉
【分科会趣旨】 障害児者が地域生活をおくるにあたって、切れ目のない支援体制の構築をはじめ、福祉と教育の連携、インクルージョン教育、障害者の就労など、理念として近年あげあげられてきました。この分科会では、実際に地域で支援活動を行っている実践報告から、成果や課題、今後の展望など児童期の支援から成人の支援まで、自閉症児者の社会生活を支える地域での支援のありかたを考える機会にしたいと思います。また、地域での支援の中心的な役割を果たしていく発達障害者支援センターの働きに関しても、情報交換や活動の方向性の検討等を参加者と行いたいと考えています。
【司会】 ・沼倉実（社会福祉法人嬉泉 おおらか学園 施設長）
【講義及び助言者】 ・本多公恵（社会福祉法人滝乃川学園 地域支援部施設長）
【発表者】 ・小池誠（社会福祉法人滝乃川学園地域支援部 相談支援センターみなも 副科長） 加藤千陽（社会福祉法人滝乃川学園 滝乃川学園児童部 若葉寮 支援スタッフ） ・山根和史（社会福祉法人北摂杉の子会 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか センター長）

第2分科会：テーマ 「個々を理解した豊かな生活のために」（行動障害への支援）
担当施設：社会福祉法人正夢の会 社会福祉法人せたがや榎の木会 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 社会福祉法人啓光福祉会
【分科会趣旨】 自閉症児者支援を進めるにあたって、一人ひとりを理解しながら、発達や成長を考えることは、とても大切なこととなりますが、支援の場面においては、行動障害と言われる対応への困難さなども感じながら、支援を行っているところも実際かと思えます。本分科会では、児童期・成人期の入所支援及び日中の生活介護事業所での行動障害に対する支援をそれぞれの視点で紹介し、行動障害の支援の在り方を学びたいと思います。また、行動障害に対して支援する職員の育成という点においても視点をおき、東京都で実践している「強度行動障害アドバンス研修」や「施設コンサルテーション」などの具体的な取り組みの話題も交えて、本分科会は進めて参りたいと思います。
【司会】 ・川名あき（社会福祉法人せたがや榎の木会 世田谷区立下馬福祉工房 施設長）
【コーディネーター】 ・山本あおひ（社会福祉法人正夢の会 事業統括）
【発表者】 ・橋本眞矢（社会福祉法人啓光福祉会 啓光学園 生活支援員） ・安部学（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 清瀬育成園ひだまりの里きよせ ネット支援リーダー） ・小久保匡広（社会福祉法人正夢の会 昭島生活実習所 支援課長）

第3分科会：テーマ 「自閉症者の安定した就労(活動)とその支援 ～働きは人生の柱～」
担当施設：社会福祉法人ひとふさの葡萄 社会福祉法人けやきの郷
<p>【分科会趣旨】</p> <p>自閉症の人たちにとっての「活動、働くことの意味」とは何なのか。活動、働くことを支えるときに「必要な支援」とは何か。障害者雇用に注目が集まる中、自閉症のある方々への就労支援の幅も大きく広がっています。また、支援の対象となる方も知的障害のある方から高機能の方と幅広くあります。本分科会では、知的障害のある自閉症の方々への活動支援や働くことへの支援、高機能の自閉症の方々への就労支援の具体的な実践事例を通じて、自閉症者への働くことを支える上で必要な支援について検討したいと思います。</p>
<p>【司会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三尾馨（社会福祉法人ひとふさの葡萄 理事長） <p>【助言者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志賀利一（社会福祉法人横浜やまびこの里 相談支援事業部長） <p>【発表者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田雄介（社会福祉法人侑愛会 ねお・はろう 支援員） ・上田智華（社会福祉法人めひの野園 ウォーム・ワークやぶなみ 主任生活支援員） ・藤井知亨（国立障害者リハビリテーションセンター 就労移行支援課 発達障害支援室 就労定着支援専門職） ・中村有志（国立障害者リハビリテーションセンター 就労移行支援課 発達障害支援室 作業療法士）

第4分科会：テーマ 「職員の定着促進のヒントを探して ～就活から定着まで気持ちの変化を追って～」
担当施設：社会福祉法人槇の里 社会福祉法人いちょうの里 社会福祉法人菜の花会 社会福祉法人嬉泉
<p>【分科会趣旨】</p> <p>「福祉は人」と言うように、対人支援の質が人材の確保育成にかかっていることは異論のないところと思います。福祉職場の人材確保に関しては、個々の事業所単位、法人全体で様々な工夫や試みがなされてきました。しかしながら、施設側が求める人材を安定して確保することは年々難しくなっており、定着促進や人材育成の努力も、暗中模索の状態にあるように思われます。そうした現状にあって、職員の意識や思いの紹介、地元高校の介護職希望の生徒・先生への啓発活動の紹介、さらに職層間の相互理解やキャリアアップ指向の醸成等を狙った職員の役割交換の試みを紹介し、今一度、就職前から入職、その後の育成・定着にわたる課題やヒントを探ってみたいと思います。</p>
<p>【司会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・與那嶺泰雄（社会福祉法人菜の花会 しもふさ工房 施設長） <p>【発表者①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森太貴（千葉県立大原高等学校 教諭） ・木下昭二（社会福祉法人三気の会 三気の里 施設長） <p>【発表者②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口秀一（社会福祉法人いちょうの里 みずほ学園 副施設長） ・工藤直也（社会福祉法人菜の花会 しもふさ学園 支援員） ・斉藤瞳（社会福祉法人嬉泉 袖ヶ浦ひかりの学園 主任支援員） ・深井務（社会福祉法人いちょうの里 みずほ学園 支援員） ・加茂正和（社会福祉法人槇の里 いすみ学園 支援主任・GHサービス管理責任者）

第5分科会：テーマ 「親から支援者・地域へのバトンタッチ(生涯を支えるために)」

担当施設：社会福祉法人梅の里 社会福祉法人ぐんぐん 社会福祉法人昭和ゆたか会

【分科会趣旨】

生涯を支える切れ目のない支援の構築には、何が必要かをテーマとします。どんなに重くても、年齢を重ねても、地域で当たり前で暮らしたいという思いに、私たちはどのような支援・体制を積み重ねていかねばならないのでしょうか。そして、労働人口の減少も含めて『人としての当たり前の豊かな生活』を切れ目なく提供していくためには、ソフト面・ハード面でも今、何が求められるのでしょうか。この分科会では、先駆的な取り組みから今後の展開や課題を学び、フロアーからも日々の実践の中での課題や工夫について出させていただき、生涯を支えるために何が必要かを参加者の思い(働く側のやりがい)も含め、共有していきたいと思えます。

【司会】

・塚田敦史(社会福祉法人梅の里 あいの家 主任)

【コーディネーター】

・高松秀彦(社会福祉法人梅の里 あいの家 理事長)

【発表者】

- ・高橋理恵(独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 生活支援部特別支援課
しらかば寮 副寮長)
- ・吉岡幸輝(社会福祉法人はるにれの里 共同生活援助事業所やすらぎ 課長)

第33回全日本自閉症支援者協会研究大会 埼玉大会

第33回全日本自閉症支援者協会研究大会埼玉大会が、埼玉県川越市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

皆様の参加登録・宿泊・情報交換会のご案内を弊社「西武トラベル株式会社」が担当させていただくことになりました。社員一同万全の体制で準備いたす所存でございます。

皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

西武トラベル株式会社
営業二部 セールスチーム

■お申込みの流れ

別紙「申込書」に必要事項をご記入いただき、西武トラベル株式会社へE-mail・FAX・郵送にてお申込みください
10月中旬より、順次、参加確認書、請求書及び必要書類をお送りいたします。

お申し込み後の変更は、申込書を修正のうえ、E-mail・FAX・郵送にてご連絡ください。

(注意)お申込み及び変更・取消について、電話での受け付けは致しません。

お申込締め切り:10月7日(月)※延長して受付しております

■研修会参加登録について

参加費:両日参加 会員:10,000円 非会員:11,000円

1日参加 会員:7,000円 非会員:8,000円

昼食弁当:11月8日(金) 1個:1,100円

情報交換会:11月7日(木) 川越プリンスホテル 18時40分～ 参加費:9,000円

■分科会について

各会場の定員の都合上、希望に添えない場合がございます。また、分科会の決定については、10月中旬以降に発送される必要書類の中に記載をさせていただきますので、書類のご到着後にご確認をお願いいたします。

■宿泊のご案内について

参加・宿泊・昼食弁当等申込書の宿泊欄に申込記号をご記入ください。大会期間中の宿泊先を下記の通りにご用意いたしました。希望多数の場合は別ホテル・部屋タイプにさせて頂く場合がございます。本宿泊プランは弊社の旅行企画・実施する募集型企画旅行での設定になります。次ページの「ご旅行条件の要約」を、事前にご確認の上、お申込み下さい。

【宿泊設定日】2019年(令和元年)11月6日(水)前泊、7日(木)当泊、8日(金)後泊

ホテル名	申込記号	部屋タイプ	1部屋当たりの人数	1名様料金/泊	アクセス
川越プリンスホテル ★大会会場	①D	ダブル	1名	14,850円	西武新宿線「本川越駅」直結 東武東上線「川越市駅」より徒歩5分 JR線、東武東上線「川越駅」より徒歩10分
	①TB	ツインB	2名	9,900円	
	①TC	ツインC	2名	9,350円	
	①TR	トリプル	3名	8,800円	
新狭山第一ホテル	②	シングル	1名	7,700円	西武新宿線「新狭山駅」より徒歩1分(本川越駅から約5分)
所沢パークホテル	③	シングル	1名	9,900円	西武新宿線「所沢駅」より徒歩3分(本川越駅から約20分)
新狭山ホテル	④SB	シングルB	1名	8,300円	西武新宿線「新狭山駅」南口駅前すぐ (本川越駅から約5分)
	④SA	シングルA	1名	7,700円	

大人お一人様 1泊朝食付き(税・サービス料込)の宿泊代金になります。

【申し込み方法】 参加・宿泊・昼食弁当等申込書の「宿泊」欄に申込記号をご記入ください。

【注意事項】 予約は先着順での受付とさせていただきますので予めご了承ください。
禁煙・喫煙部屋のご指定は、ご希望に添えない場合もありますので、予めご了承ください。
お荷物は、ホテルクロークをご利用ください。

■昼食弁当(大会2日目)のご案内について

大会会場でお召し上がりいただけるお弁当をご用意しております。ご希望の方はお申込みください。

期日:11月8日(金) 大会2日目 分科会場にて配布

料金:1,100円(幕の内弁当)

■変更・取り消しについて

- ①大会参加費については、受付終了日以降(10月8日)は、ご返金できませんのでご注意ください。(参加者変更は可)
- ②変更・取り消しは申込書の控えにご要望をご記入いただき必ず書面(FAX等)にてご連絡ください。
- ③トラブル防止のため、電話での変更・取り消しは受け付けておりませんのでご了承ください。
- ④変更・取り消しの連絡が西武トラベル株式会社の営業日・営業時間外の通知の場合は次の営業日・時間に持ち越されますので予め、ご了承ください。
- ⑤お客様のご都合でご予約を取り消しされる場合は以下の取消料を申し受けます。(大会参加費は除く)

取消料	21日前	20～8日前	7～3日前	2日前及び前日	当日	無連絡不参加
宿泊及び情報交換会	無料	20%	30%	50%	100%	100%

■個人情報取扱いについて

詳しくは弊社ホームページ(<http://www.seibutrael.co.jp/policy/index.html>)をご覧ください。

当社および受託旅行業者は、旅行申込みの際に提出された、申込書に記載された個人情報について、お客さまのご連絡に利用させていただくほか、お客さまがお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービス手配、及びそれらのサービスを受領するための手続きに必要範囲内で利用させていただきます。この他、当社および旅行取扱店では、(1)会社および会社と提携する企業の商品サービス、キャンペーンのご案内、(2)旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、(3)アンケートのお願い、(4)特典、サービスの提供、(5)統計資料の作成、にお客さまの個人情報を利用させていただきますことがあります。

(注意)この大会の資料に名簿の掲載を予定しております。

■ご旅行条件の要約

詳しくは弊社ホームページ(<http://www.seibutrael.co.jp/agreement/index.html>)をご覧ください。

募集型企画旅行契約

この旅行は、西武トラベル株式会社(以下、当社という)が企画・実施するもので、お客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。契約事項については、当社の旅行業約款、旅行条件書およびご案内によります。

旅行の申込み及び契約成立

所定の申込書に必要事項を記入の上、E-mail、FAX又は郵送にてお申込みください。また、指定の期日までに代金をお振込みください。本大会は組織募集であり、主催者が確定しているため、旅行契約はお申込金なしであっても、お申込み書面を頂いた時点で成立するものとします。

旅行代金に含まれるもの

日程に記載の宿泊費、食事代、消費税等諸税

旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2019年3月1日を基準としております。また旅行代金は2019年3月1日現在有効なものとして公示している運賃・適用規則を基準として算出しております。

■お問合せ・申込書送付先

西武トラベル株式会社 『全日本自閉症支援者協会研究大会 埼玉大会』係

《観光庁長官登録旅行業第139号》 旅行業務取扱管理者: 廣岡 猛

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル3階

営業時間: 平日9時30分～17時30分(土曜日・日曜日・祝祭日はお休みとなります)

TEL: 03-6743-7171 FAX: 03-6743-7186 E-mail: zenjisyakyo.saitama@seibutrael.co.jp

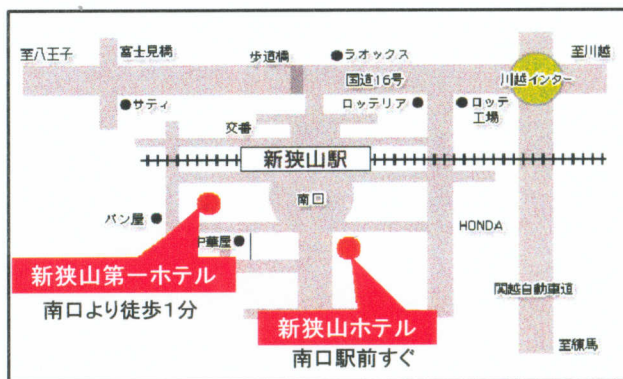
受付担当: 吉澤・三浦 渉外担当: 廣岡

【大会会場・宿泊設定ホテル MAP】

《川越プリンスホテル》 大会会場



《新狭山第一ホテル・新狭山ホテル》



《所沢パークホテル》



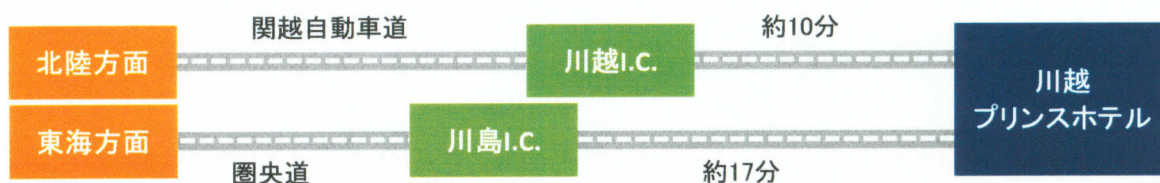
《川越プリンスホテルまでのアクセス方法》

■ 電車でお越しの場合

西武新宿線	本川越駅より	… 直結
東武東上線	川越市駅より	… 徒歩5分
JR川越線・埼京線	川越駅より	… 徒歩10分



■ お車でお越しの場合



『第33回全日本自閉症支援者協会研究大会 埼玉大会』参加申込書

申込日 2019年 月 日

◆お申込締切日: 2019年10月7日(月) ※延長して受付しております 【送付先】FAX: 03-6743-7186(西武トラベル(株) 営業三部 宛)

都道府県	フリガナ	フリガナ
ご住所 (参加券送付先)	フリガナ	フリガナ
勤務先 又は 個人名	フリガナ	フリガナ
所属先 及び 勤務先	申し込み代表者	
	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先 該当にチェック	TEL () - FAX () - 携帯電話 () - メールアドレス

No.	フリガナ 氏名	性別 年齢	参加区分	大会参加費 ◆注)		11/8(金)希望分科会		情報交換会		宿泊				屋食弁当 11/8(金) 記号 ○ 1,100円	小計	備考 同室希望者など
				両日参加 11/7(木) 11/8(金)	1日参加 11/7(木)	1日参加 11/8(金)	1日参加 11/7(木)	11/7(木)	11/8(金)	11/8(金)	11/7(木)	11/6(水)	11/7(木)			
例	セイブ タロウ 西武 太郎	男 40歳	○(会員) 非会員	両日参加 10,000円	1日参加 円	1日参加 円	① ②	OK 9,000円	記号 ○ 当社記入	記号 ○ ○	記号 ○ ○	記号 ○ ○	記号 ○ ○	○ 禁煙	円	なし
1		男 女	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円								○ 禁煙	円	
2		男 女	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円								○ 禁煙	円	
3		男 女	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円								○ 禁煙	円	
4		男 女	会員 非会員	両日参加 円	1日参加 円	1日参加 円								○ 禁煙	円	
														合計	円	

◆注)参加費:両日参加 会員:10,000円 非会員:11,000円、1日参加 会員:7,000円 非会員:8,000円
 ・喫煙・禁煙のご希望については、できる限り配慮いたしますが、ご希望に添えない場合もございます。予めご了承下さい。
 ・個人情報については、参加者ごとの連絡調整、参加者名簿の作成等、本大会事業の目的以外で使用することはありません。

お申込、お問合せ

【お客様にご返金が生じた場合の口座番号】
 ※念のため、ご記入をよろしくお願いいたします。

●金融機関名 銀行 支店
 ●口座番号(普通、当座)
 ●口座名義

●三菱UFJ銀行 虎ノ門支店
 (普通) No. 1296363

【口座名義】 西武トラベル株式会社

西武トラベル株式会社
 〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-2 新橋Sビル3
 電話 03-6743-7171 FAX 03-6743-7186
 担当: 廣岡・吉澤・三浦
 E-mail: sales@saibutrabavel.co.jp

受付日
 受付No. Z

《通信欄》

《費用振込先》 当社よりこちらの用紙をご返信した日より、7日以内に下記口座までお支払いをよろしくお願いいたします。また、振込の際は、お名前前に必ず受付No. (Z0000) をご登録よろしく願います。